



### ■ 交換留学生がやってきます

佐賀大学医学部は、ハワイ大学医学部 (University of Hawaii, John A. Burns School of Medicine: JABSOM) と国際交流協定を結び、積極的な交流を行ってまいりましたが、今年も、交換留学の季節となりました。7月1日より2週間、4名の交換留学生がやってきます。彼らは JABSOM カリキュラムの1年次を修了し、8月から2年次のカリキュラムに入る学生ですが、医学部入学前に4年間の大学教育を経ているので、佐賀大の教育課程に照らせば3年次修了時点に相当する学生です。ハワイ大学は PBL の先進的実践校として名高く、本学のカリキュラムのモデルでもあります。彼らは、1年次にも PBL と並行して地域医療現場での実習や臨床技能訓練も繰り返し行っていますので、学力ならびに実践的な能力も携えています。

また今年とは同時に、新たに交流協定を結んだ、輔仁カトリック大学医学部 ([http://140.136.240.107/english\\_fju/](http://140.136.240.107/english_fju/) 台湾台北市) からも、3名の留学生を迎えることができました。台湾の医学教育は7年制で、高校卒業後の学生が入学します。4年間の座学のあと、5・6年次は臨床実習を行い、7年次はインターンシップとして日本の初期研修のような実践的訓練をうけます。輔仁カトリック大学は PBL を積極的に行っており、その方式も佐賀と共通しています。今回、佐賀で実習するのは、5年次を終えた学生です。

いずれの留学生も、附属病院での高度先進医療から、地域基幹病院での医療、診療所のプライマリケアまで、日本の医療を幅広く経験し、日本の優れた医療や保険の制度を学んでいきます。

佐賀の学生にとっては、外国の教育を受けた医学生たちの実力や学習への姿勢を知る、またとないチャンスです。積極的に交流し、より多くのことを学んでください。また3年次カリキュラムの一環としてハワイ学生による PBL のデモンストレーションを実施します (7月10日 13-14時、場所 臨床大講堂)。学生、教職員の見学も歓迎します。次いで、8月には、ホノルルで行われる臨床推論ワークショップに、本学から数名が参加します。9月には輔仁カトリック大学での臨床実習への派遣も企画されています。ぜひ、応募してください。(小田康友)

### ■ 医学科6年生が選んだ教員(ベスト10)のインタビュー

今回は、循環器内科の野出孝一教授に、臨床実習教育についてお話を聞かせてもらいました。「想像を膨らませること」の重要性について、学生に教えている、と言われました。たとえば、聴診の異常から、心臓の形態の変化を想像させ、どんな心電図異常を示すのか、どんな胸部レントゲン異常を示すのか、どんな心臓超音波所見を示すのか、想像させ、検査結果を確認させる、ということでした。形態の変化の次には、生化学的な変化、分子生物学的な変化、というように、「臨床医学」と「基礎医学」を行ったり来たりしながら、学ばせるとも言われていました。我が国で、医学教育の国際標準を目指す上で、「基礎医学」と「臨床医学」を組み合わせた統合的な授業が欠けていると言われています。本日のお話は、まさに、その欠けているものを補う講義をされている、と気づきました。最後に、「聴診器を当てることで、全てのがわかるわけではないが、様態の変化をいち早く知ることが出来るし、何よりも安心感を与える行為である」と言われたので、「私も全く同感です」と伝えてインタビューを終わりました。(江村正)

### ■ 慢性疾患看護専門看護師の教育機関として認定されました

2013年、本学大学院の慢性看護専攻教育課程が慢性疾患看護専門看護師の教育機関として認定されました。慢性疾患看護専門看護師の教育は2011年より既に開始されており、今年、初の卒業生を送り出しました。専門看護師になるためには、卒業後に厳しい書類審査と筆記審査に合格する必要がありますが、就職先(附属病院)の協力もあり、卒業生ならやってくれるだろうと期待しています。

専門看護師は、複雑多様化する患者や家族、社会の要請に応じて質の高い看護ケアを効率よく提供するとともに、保健医療福祉の発展や看護学の向上に寄与することが期待される職位です。キャリアアップを考えている看護職の皆さん、是非、本学での資格取得をご検討ください。また、本学大学院(看護学専攻)では、教育者や研究者の育成にも力を入れております。カリキュラムや講義開講時間の見直し等を行い、これまで以上に社会の方が学びやすい環境になったと思います。教育や研究に興味のある看護職の皆さんも、是非、本大学院への進学をご検討ください。なお、7月4日17時半から大学院進学説明会を実施します。興味関心のある方は是非ご参加ください。(幸松美智子)

### ■ 全国統一英語能力テスト【TOEIC】について

佐賀大学では、学生の皆さんが英語学習について明確な目標を持つことで自律的かつ持続的学習を行えるように、さらに、入学後の英語力の推移を測定・検証し、本学の英語教育の改善と大学全体としての英語力の向上を図るため、平成25年度の大学生から、医学部生については1年次に2回(前学期と後学期)、「TOEIC-IPテスト」を実施することとなりました。(平成25年度入学の1年次生全員が対象で、費用は大学が負担します。)

※詳細については、学生センターのHPや1年次生掲示板で確認してください。(学生サービス課)

#### 1. 試験日時

【前学期の受験】平成25年6月29日(土)  
10:00~12:00(集合時間9:00)

【後学期の受験】平成26年1月11日(土)  
10:00~12:00(集合時間9:00)

#### 2. 試験会場 鍋島地区、校舎講義棟

#### 3. 利用方法

前学期の受験は英語B、後学期の受験は英語Dの成績の一部(30%)として利用します。また、これにより大学全体、学部・学科等のレベル、学生個人レベルでの1年次生の英語力の状況を把握します。

#### 教育広報部会

小田康友、市場正良、吉田和代、江村正、  
幸松美智子、本間治

ご意見をお待ちしています ([oday@cc.saga-u.ac.jp](mailto:oday@cc.saga-u.ac.jp))